

## <別紙> 創立 100 周年記念事業 平成 22 年度予算書

### 1 創立 100 周年記念の事業収入

①募金収入	1025 万 7010 円
個人寄付 236 万 7000 円＋法人寄付 931 万円＋50 万円(予定)＋10 円(利息)－192 万円(既執行分)	
②大阪大学のシンポジウム助成	300 万円 (予定)
③大阪大学文学研究科の助成	50 万円 (予定)
④通常経費振替	90 万円 (会誌『懐徳』特集号)
⑤祝賀会参加費	25 万円 (無料招待客＋一部有料参加者)
⑥基金取り崩し	115 万 2990 円

平成 22 年度予算 収入合計 1 6 0 6 万円

### 2 懐徳堂記念会創立 100 周年記念事業の内容

#### ①シンポジウム (総額 560 万円)

平成22年11月27日13:30～17:00 於：NHK大阪ホール 共催：NHK、大阪大学

『総合探求：21世紀市民の「学びのかたち」— 懐徳堂記念会のこれまでの100年とこれからの100年』

基調講演：堺屋太一

パネリスト：安藤忠雄、コシノヒロコ、津田和明、鷺田清一

司会：森西真弓、加地伸行

◆講師・司会等謝金	284 万円 (お車代、源泉所得税を含む)
◆NHK 会場運営費	130 万円
◆記念会会場運営費	46 万円 (室内楽演奏 10 万＋設営人件費＋パ <sup>レ</sup> ル)
◆懐徳堂記念会紹介映像作成費	100 万円

#### ②式典・祝賀会 (総額 90 万円)

平成 22 年 11 月 27 日 於：大阪大学中之島センター

◆飲食費	60 万円
◆諸雑費	30 万円 (移動交通費等)

#### ③資料展 (総額 132 万円)

懐徳堂記念会創立 100 周年記念「懐徳堂展—大阪「知」の源流—」

平成 22 年 10 月 27 日 (水) ～12 月 20 日 (月) 於：大阪歴史博物館 8 階特集展示室

主催 大阪大学・大阪歴史博物館・財団法人懐徳堂記念会

◆展示目録	20 万円
◆会場設営費	50 万円
◆撤去費用	47 万円
◆入場料	15 万円 (無料招待券等)

④シンポジウム・資料展の情宣費（総額 110 万円）

- ◆ ポスター・チラシ等印刷代 50 万円
- ◆ 駅貼り広告 50 万円
- ◆ 送料等 10 万円

⑤記念出版（総額 714 万円）

(1) 『懐徳堂記念会百年誌』（A5版、ソフトカバー、182頁、1000部）

- ◆印刷製本費 450万円
- ◆執筆・編集謝礼 50 万円

(2) 阪大リーブルの刊行助成（大阪大学出版会）

- ◆刊行助成費 64万円（④懐徳堂ゆかりの絵画、⑤漢学と洋学）

(3) 会誌『懐徳』「100周年記念シンポジウム」の特集号

- ◆印刷・製本等の費用 150万円（うち90万は通常経費の振り替え）

**平成22年度予算 支出合計 1606万円**

---

**(参考) 創立 100 周年記念事業 平成 20・21 年度実施分**

**I 懐徳堂の史跡整備（総額375万円）**

(1) 墓石修復

五井蘭洲（実相寺）の墓石修復 →平成20年度に執行（100万円）

中井蕉園・履軒・碩果・竹山（誓願寺）の墓石修復 →平成21年度に執行（205万円）

(2) 懐徳堂史跡の説明板の設置

五井蘭洲（実相寺） →平成21年度に執行（20万）

(3) HP懐徳堂史跡マップの作成

→平成20年度に執行（50万円）

**II 記念出版（総額102万円）**

(1) 『懐徳堂記念会百年誌』資料調査・座談会

→平成21年度に執行（60万円）

(2) 阪大リーブルの刊行助成（大阪大学出版会）3冊

①墨の道 印の宇宙 ②江戸時代の親孝行 →平成20年度に執行（60万円）

③市民大学の誕生 →平成21年度に執行（32万円）